

## ■工学研究科 電子・数物系専攻 数理工学分野

### ○ディプロマ・ポリシー

#### 【博士前期課程】

電子・数物系専攻数理工学分野では、工学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、以下の項目を学位授与のために身に付けるべき能力とし、これらの能力を修得した者に修士（工学）の学位を授与する。

1. 数理工学分野の広範な専門知識の教授と研究指導を通して、基本的研究能力と問題解決能力を培い、自ら知的資産を創造し、当該分野の新領域を開拓できる。
2. 数理工学に基礎を置き、自然現象や社会現象を数理的モデルによって解明し、その結果を工学的に応用するための高度な知識と研究開発能力を発揮できる。
3. 数理工学分野の広範な専門知識の取得のみならず、物性物理・半導体物理に関する実験的・数理工学的解明を進め、高度情報化社会を支えることができる。
4. 国際社会で活躍できる広範な視野をもつと共に、日本語能力、英語能力の向上を図り、会話・読解能力を持ち、学術論文や技術資料の調査・分析ができ、ならびに学術報告・論文の執筆・発表ができる。
5. 幅広い基礎学理に裏付された高い創造性と柔軟性をもち、国際的に活躍することができる。
6. イノベーション創出型研究者として、産業界で活躍しうる能力を発揮できる。
7. 人類、社会の重要課題を全地球的な視野から捉え、問題を提起し解決できる。

#### 【博士後期課程】

電子・数物系専攻数理工学分野では、工学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、以下の項目を学位授与のために身に付けるべき能力とし、これらの能力を修得した者に博士（工学）の学位を授与する。

1. 数理工学の広範な専門知識の教授と研究指導を通して、基本的研究能力と問題解決能力を培い、自ら知的資産を創造し、当該分野の新領域を開拓できる。
2. 数理工学分野の高度な専門知識の教授と研究指導を通して、自立して研究活動を行い、その成果を総合評価する能力を培い、新しい知識を体系化し、先導的な当該分野の新領域を創生できる。
3. 数理工学に基礎を置き、自然現象や社会現象を数理的モデルによって解明し、その結果を工学的に応用するための高度な知識と研究開発能力を発揮できる。
4. イノベーション創出型研究者として、産業界で活躍しうる能力を発揮できる。